

優良種苗確保事業

(環境部森林保全チーム執行委任)

島田博匡

円滑かつ適正な森林造成を推進するために、精英樹系統苗木等の特性を解明し、優良な種苗の供給を確保することを目的として次の事業を実施した。

1. 採種園・採穂園改良事業

採穂園、採種園の改良のため、不良木等の伐倒・搬出や補植、断幹等の樹形誘導などを行った。

2. カメムシ等防除対策事業

カメムシ類による球果被害を防除し、発芽率の高い優良種子を確保するために、本年度に採種を行う採種木に袋かけを行った。採種後の発芽試験において袋かけしたものとそれ以外のものとを比較したところ表-1のとおりであった。

表-1. 種子重量及び発芽率

樹種	区分	重量(g/100粒)	発芽率(%)
ヒノキ	袋かけ有	0.221	60.6
	袋かけ無	0.187	4.9

3. 品種改良事業

選抜された精英樹の遺伝的特性を検定するため、名賀郡青山町高尾の次代検定林(三西スギ 14号・林齢 20年)において全成立木に対し、樹高、胸高直径、根曲がり、幹曲がりの調査を行った。

4. 採種源整備運営事業

(1) 普通母樹林等整備推進事業

着果結実促進のため、次年度に採種を行う採種木にシベレリン処理を行った。

(2) 種子採種事業

種子を採種、精選し、スギ 15kg(発芽率 49.0%)、ヒノキ 100kg(発芽率 49.7%)の合計 115kgを三重県林業種苗協同組合連合会に売り払った。

(3) 育種母樹林整備事業

採穂園、採種園を対象に下刈、消毒、施肥、整枝剪定、苗木養成などを行った。

5. その他

(1) 抵抗性クロマツ苗木に対するマツノザイセンチュウ接種試験

抵抗性クロマツ採種園から生産される種子から養成した苗木の抵抗性を確認するために、2～3年生の苗木に対し、マツノザイセンチュウ接種試験を実施した。試験結果は表-2 のとおりであった。

表-2 . 抵抗性クロマツ苗木に対するマツノザイセンチュウ接種試験の結果

種別	接種本数	健全本数	健全率 (%)
抵抗性クロマツ	220	93	42.3
対象クロマツ (精英樹)	32	12	37.5
主な家系 (接種本数 20 本以上) の結果			
三豊 103	35	14	40.0
波方 37	27	5	18.5
吉田 2	21	3	14.3
津屋崎 50	22	12	54.5
小浜 30	21	8	38.1
大瀬戸 12	24	18	75.0

接種頭数：5000 頭/本 接種年月日：平成 14 年 7 月 24 日 調査年月日：平成 14 年 12 月 4 日

(2) スギ雄花着生量調査

三重大学が行っているスギ花粉飛散予想のための資料とするため、スギ採種園 (三重育 16-14) の精英樹 23 クローン (69 本) を対象に雄花の着生量調査を行った。

着生量は調査木ごとに、それぞれ 4 方向の着生状況を指数 { 0 (ほとんど着花していないか、全くない) ~ 3 (樹冠の 2/3 以上に着花している) までの 4 段階評価 } で表し、その平均を調査木の着生量とし、全調査木の平均をその年の着生量とした。調査結果は図-1 のとおりであった。

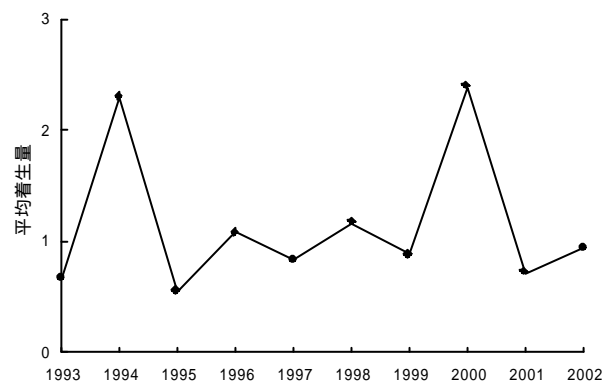


図-1 . スギ雄花平均着生量の年変化